



屋上からの眺望。仙台城跡方面を望む

株式会社エコーラ

職住泊融合の総合複合施設 仙台大町プロジェクト始動

㈱エコーラ（青葉区、百田好徳代表取締役）は、常識をひっくり返す新しい生活様式を提案する「仙台大町プロジェクト」を始動させた。仙台市青葉区大町2丁目に取得した築50年ほどのビルをフルリノベーションし、新しい複合総合施設として誕生させる。同社が、



百田好徳代表取締役

u company ㈱（東京都、内山博文代表取締役）と連携して取り組むプロジェクト。オープンは、2021年冬を予定する。

場所は、市のメインストリートの一つ、青葉通沿い。仙台市地下鉄東西線大町西公園駅徒歩1分。御膳代町看板塔の東隣に位置する。JR仙台駅西口周辺や一番町、市役所などの官庁街に徒歩でアク

仙台大町プロジェクト外観イメージ



セスでき、立地の利便性は高い。既存の建物は、敷地面積229.02平方メートル。鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階、地上11階建て。延べ床面積2176.93平方メートル。

百田社長は、「大町プロジェクトでは、『暮らす』『働く』『旅』というキーワードを盛り込み、東北の結節点をデザインすることを目的としています。ホテルやレジデンス、オフィス空間などを備え、クリエイティブなビジネスマンや成長段階の起業家、仙台からさまざまな物事を発信したいと考えているクリエイターなどの活動の場となることで、東北の価値を発信する仙台が、さらに求心力を強めていくことに貢献したいと考えています。」

います」と述べる。

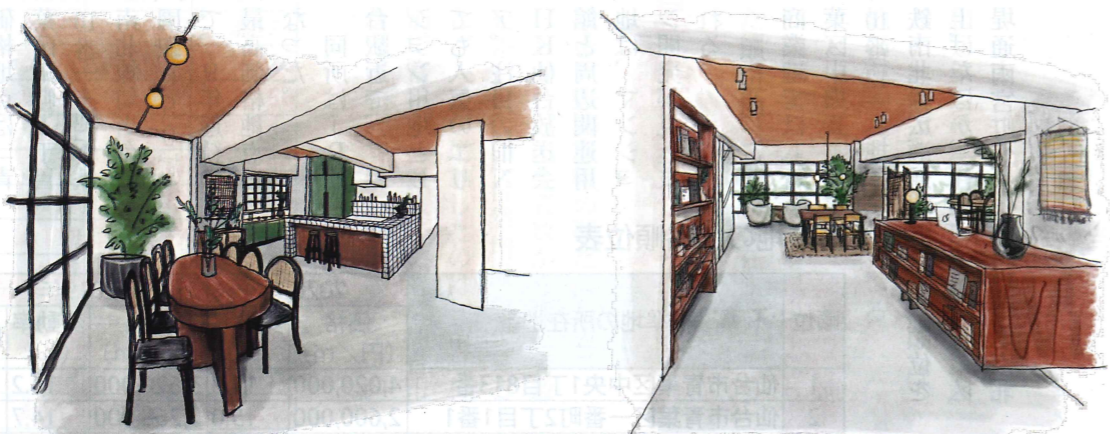
仙台の不動産に新たな価値を提供する

フロア構成（案）は、地下1階が約80平方メートルの会議室・イベントホールで、各種セミナーや講演会、eスポーツの会場などを予定する。1階は、約50平方メートルのカフェ（路面店）を併設したエントランス。施設内での飲食が可能になる。2階は、シェアキッチン、ダイニングルームを備えたシェアオフィス。そのほか、洗濯機や水回り設

備を備える。3階は、10人程度まで可能なオフィス空間を複数用意する。4階は、長期滞在可能なホテルとしての機能を持つ空間。内装にもこだわる。全3室で、一部屋4〜6人用。利用者は、2階の水回り設備を利用する。5、6階は、トイレやキッチンなどの水回り設備が整ったSOHO（ソーパー）各フロア3室を用意。7〜9階は、1LDKの賃貸マンションとなる。10、11階は、意匠的なデザインを施した家具付きのサービスアパートメント。部屋ごとの転貸も可能となる。屋上は、いすやテーブル、グリーンを配置したりラクゼーションスペース。仙台城跡方面も一望できる。

使い方としては、仙台と東京などの二拠点居住や短期間の出張、観光などを想定し、合理的に滞在する仕組みを施設内に取り入れていることが大きな特徴だ。職住泊が融合した新しい住み方、働き方ができる。

また、㈱エコーラが運営する、個人やフリーランスを主な対象にした「THEE6」（青葉区春日町）、



2階の内装イメージ。シェアキッチンを用意する。右は、エントランスイメージ

2、3人規模の企業などを主な対象にした「TNER」（トナー、青葉区二日町）と連携し、会員の相互利用や企業の成長ステージに応じた各施設の使い分けも可能になる。さらに、女性が活躍できる

インキュベーション施設という場としても検討を進めている。

「特に、サービスアパートメントやホテルについては、一般的なマンションやマンションやビジネスホテルと違い、仙台にないデザイン、空間、サービスを提案していきたい。遠方から来たビジネスゲストに宿泊いただくことも可能です。地下鉄東西線のアクセスも申し分ありません。この複合施設で、食、住、泊、職、遊が完結できます。仙台の不動産に、新たな価値を提供できると考えています」と百田社長。

合わせて、8月1日にグランドオープンする「TNER」（トナー）に導入した転貸の機能も盛り込む。一次利用者が使用していない時間、他の人にその部屋を貸し出すことができる仕組みだ。短期間、または時間限定で意匠性のある部屋を賃貸したい二次利用者に便利で、一次利用者は家賃の軽減にもつながる。

㈱エコーラは、リノベーションを通じて、仙台の住まい、暮らし、働き方に、新たな風を吹き込むまちづくりを続けている。